

『関西大学高等教育研究』創刊号 巻頭言

ここに創刊される『関西大学高等教育研究』は、関西大学教育開発支援センターが発行する研究紀要である。関西大学教育開発支援センターは、関西大学教育推進部の業務を遂行するために教育推進部に設置された組織であるので、まず、教育推進部とはいかなる組織かについてふれておこう。

関西大学教育推進部は、関西大学における教育の質的向上の拠点となるべき機関として、2008年10月に発足した教学組織である。教育推進部は、かつては全学共通教育推進機構及びその下部組織としての全学共通教育部門委員会、FD・授業評価部門委員会、免許・資格部門委員会、並びに、教学委員会などが担っていた諸業務を、全学的な教育推進というより広い戦略的視野から統合し遂行する機関として新たに組織された。それゆえ、教育推進部の業務は、主として、教育推進戦略に関する事項、全学共通教育に関する事項、FD・教育開発支援に関する事項、免許・資格取得支援に関する事項である。

教育推進部には、全学的な教育に関する諸施策について協議・意思決定する機関として、教育推進部長、同副部長、各学部副学部長などによって構成される教育推進委員会が置かれている。そして、教育推進委員会のもとに、全学共通科目の編成や運営をおこなう全学共通教育推進委員会が置かれるとともに、教育推進部のもとには、FD活動を担う教育開発支援センターと、教職課程の編成や運営、教職志望学生の支援をおこなう教職支援センターが置かれ、教育推進部の業務を遂行している。

教育推進部には現在4名の専任教員と2名の特別任用教員が配置されているが、4名の専任教員は全学共通教育およびFDにかかわる業務にたずさわるとともに、それぞれの専門領域にかかわる教育と研究に従事している。文部科学省2009年度大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラムに採択された「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」は、これらの専任教員と事務職員との教職協働に大学院生スタッフ(研究員)を加えた三者協働体制によるチームワークをつちかうことをFD活動の原点とする教育開発支援センターの取組であり、本紀要にも大学院生スタッフの報告が掲載されていることを付け加えておく。

関西大学教育推進部とそのもとに設置されている教育開発支援センターは以上のような組織であるから、教育開発支援センターが発行する研究紀要の執筆者や内容は、おのずから、教育開発支援センターの活動や取り組みとかかわりをもつものが主となる。本創刊号には、二つの論文、三つの活動報告、一つの解説が含まれているが、執筆者からいっても、内容から見ても、それらはすべて教育開発支援センターの活動や取り組みと直接的または間接的な関連をもつものである。

本紀要をひもといっていた読者には、教育開発支援センターの活動や取り組みがどのようなものであるかについて知っていただくことができると思う。そして、教育開発支援センターの活動や取り組みが、FD業務の単なる遂行に止まるものではなく、教育推進部に所属するまたは密接な関係をもつ教員や研究者の知的営為と分かちがたく結びついていることを了解していただければ、これに優るよろこびはない。

2010年10月

関西大学教育推進部長 市原 靖久